

冬来たりなば  
こたつとみかんと  
愛読書

# としょえもん

—学校図書館サポートだより 第2号（通巻18号）—



## 今なぜ学校図書館なのか～現場を回ってみて～

八王子市教育委員会 統括指導主事 斉藤 郁央

八王子市では、平成22年4月より、「学校図書館サポート事業」を始めています。

その事業の一つとして、平成22年度から5年間、各年度20校を目安に学校図書館活用重点校を指定し、学校図書館活性化のための巡回支援を行っています。

今年度は、最終年度として、18校が重点校として指定されています。これにより、市内の全公立小中学校が重点校の指定を受けたこととなります。

今号では、重点校への支援がどのように行われているのか、学校現場での実際の活動の様子についてご紹介します。9月に、重点校のA小学校を訪問しました。この日に合わせ、ボランティアの保護者の方が15名集まってくださり、2つのグループに分かれて作業を行いました。

第1グループは選書です。「保護者と教職員の会」の会費から予算化した図書購入費内で、どのような本を選べばよいか、カタログを見たり、教育センターの学校図書館担当スタッフの助言を受けたりして検討しました。子供たちにどんな本を読んでもらいたいか、アイデアを出し合い、真剣に話し合いました。

第2グループは書架の整理です。今回は外国文学を中心とした本の整理を行いました。

国語の教科書に記載されている分類法を踏まえ、児童に分かりやすいように、作者ごとに、50音順に並び替え、改めて本棚に入れ直しました。全員で協力して本の出し入れを行い、多くの本を整理することができました。

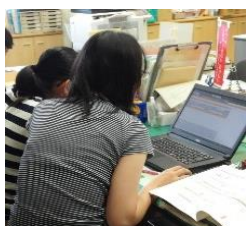
2つの作業とも、ボランティアの方々や学校図書館担当スタッフが力を合わせ、子どもたちのためによりよい環境を整備したいとの強い思いで充実した作業を進めることができました。

重点校の支援活動としては、この他にも、司書教諭や担当教員へのアドバイス、図書委員会の児童・生徒への指導、講習会等を通じた学校図書館ボランティアの方々への支援など、多岐にわたっています。

このような一つ一つの支援活動は、学校図書館が子供たちにとって、より親しみやすい場所になるよう、多くの方の協力により進められているものです。学校は、こうした願いを受け止め、学校図書館の一層の環境整備と維持管理を図り、授業における積極的な活用をさらに推進するよう、強く期待しています。



ボランティアの協力により整備のすすむ学校図書館



選書のための資料を探す先生方。職員室の机上パソコンからも検索が可能になりました。

### 蔵書検索システムで何ができるの？

平成24年9月より、市内すべての小中学校と八王子市図書館をネットワークで結び、学校図書館の蔵書の検索ができるようになってきました。学校図書館にパソコンも配置され、「読みきかせに使いたい〇〇あったかな?」「詩の学習で同じ作家の本を探しているのだけれど」「職場体験を前に関連の本を集めたい」などタイトルや作者、学習のテーマなどで本を探することができます。また、本を購入する際の選書にも大変役立ちます。ブックトークや展示で本を集めたい時は、キーワード検索で本を探してみましょう。「うちの学校にこんな本があったのね」という意外な発見があるかもしれません。先生方だけでなく、学校図書館で活動するボランティアの皆さんにも活用していただければと思います。

#### 夏のパワーアップ研修会 (一般教員対象)

##### 「学校図書館を活用した調べ学習の実践」

7 月 24 日(木)、八王子市中央図書館を会場に行なわれました。蔵元和子先生を講師にお迎えしての研修も 5 年目です。参加した先生方は、提示された大きなテーマから、自分が調べたいテーマのポイントやキーワードを絞り込み、実際に図書館の中から参考資料を選び、調べ学習の基礎となる実習を体験。例年にも増して、熱心に実践に取り組んでいました。

選  
び  
ブ  
ッ  
ク  
を  
ク  
レ  
ク  
ト  
す  
る  
ト  
ー  
ク  
研  
修  
会  
の  
先  
生  
方  
本



読書活動研究家である蔵元和子先生による講義「ブックトーク入門」。ブックトークは「うまく仕組まれた本のコマーシャル」で、児童・生徒が「これを読んでみたい」と「思うように・思えるように」組むなどのお話があり、先生方が実践する場合のポイントや、シナリオ作りについても具体的なアドバイスがありました。続いてはブックトークに造詣の深い中山小学校の宮本茂先生による実演。「声を出して」をテーマに『うしはどこでも「モー」』『杜子春・くもの糸』『キング牧師の力づよい言葉』『キング牧師』4 冊の本を声というつながりを持たせて紹介。六年生向け理科授業の導入として、「血液」をテーマにしたブックトークもあわせて実演していただきました。

演習「ブックトークの実践」では、予め提示されたテーマに関わる本を持参していただきましたので、テーマごと 4~5 人のグループになり、持参した本や中央図書館の学校貸出資料を使ってシナリオ作りに挑戦しました。代表グループによる発表があり、参加した先生からは「講義だけでなく実際に演習することで理解が深まった。」「ブックトークについて初めて研修したが、他の学校の先生との実習でいろいろな本を発見することができ、楽しかった。早速やってみたい。」などの声をいただきました。

#### 第 2 回学校図書館ボランティア研修会

11 月 19 日(水) 10 時~ / 14 時~

講習Ⅰ 「本の修理 ABC」(入門編)  
講習Ⅲ 「本の修理」(応用編)

本の修理について、午前の講座は入門編、午後の講座は応用編として、教育センター学校図書館担当と学校図書館サポーターが講師を担当しました。



市内各校のボランティア 63 名の皆様が参加され、本の修理についての説明を受けた後、本を実際に修理する実習に取り組みました。真剣な中にも和気あいあいと情報交換する姿も見られ、充実した研修会になったのではないかと思います。子どもたちが、傷んだ本をボランティアの皆様が直してくれていることを知り、本をさらに大切に扱おうとする心が育つことを願っています。

(アンケートより) 詳しく教えて頂きありがとうございます。私自身も本を大切にすることが更に強まりました。

講習Ⅱ・Ⅳ 「展示のアイデアとミニカード作り」

教育センター学校図書館担当が講師を務め、学校図書館の展示やカード作り等について講習会を実施、37 名のボランティアの皆様が参加しました。学校図書館は、子どもたちにとって落ち着いて学習できる場、ほっとする安心できる場である同時に、「楽しそう」「読んでみたい」という読書への意欲を高め、読書の幅を広げる場であることが大切です。そこで、季節を感じさせる装飾やテーマ展示、子どもたちにとって見やすい、手に取りやすい展示、本の紹介カードなどが活躍します。

研修で実習したことを各校で生かし、子どもたちにとって充実した図書館づくりが推進されると確信しています。(アンケートより) この場で作ることができたので、分かりやすく楽しかったです。他の方の作ったものも、とても参考になりました。

#### 学校図書館にじいろ通信

大和田小学校



大和田小学校は、「自分の考えを豊かに表現できる子の育成」を目指し、八王子市研究指定校として、また、東京都言語能力向上拠点校として言語活動の充実と読書活動の推進に取り組んでいます。平成 22 年度には学校図書館活用重点校として環境整備に取り組み、ボランティア活動もさらに活発になりました。学校図書館の入り口には、ボランティアさんおすすめの本や季節の装飾が展示され、明るい雰囲気。この四月からは、学校図書館サポーターの元気な笑顔も加わり、児童を迎えています。図書部の先生は学校図書館年間指導計画を作成し、サポーターの授業支援と積極的な活用を目指して、校内での調整役を務めています。

学校図書館サポーターは、11 月に校内研究として行われる六年生国語『読書座談会をしよう』の授業のために、単元の導入よりかわり、関連資料の収集からはじまり、集団読書用図書の選定、本の紹介、六年生の先生方と「初雪のふる日」(安房直子著)を題材にした「模擬読書座談会」を行い、児童の興味や単元への理解を深める支援をしました。週に一回の学校勤務を有効に使うためには、先生方との打ち合わせがかかせません。短い時間でも、言葉を交わす事で学校の方針や、相互への理解が深まることを実感しているとのサポーターの声。小さな努力が、さらなる学校図書館の可能性や活用の幅を広げていくでしょう。



市内小中学校に派遣されている 11 名の学校図書館サポーターの活躍の様子や、学校の取り組みを紹介しています。



<p>元木小学校</p>			<p><b>左:</b>学校からの声掛けで集まったボランティアの皆さんで、絵本のEラベル貼り、あいうえお順に並べました。<b>右:</b>入り口のガラスケース内に新しい本を展示、子どもたちも貸し出しされる日を楽しみにしています。</p>
<p>長沼小学校</p>			<p><b>左:</b>夏休み前に書架の本を抜き出して、NDC順に並べなおし。大勢のボランティアさんが活躍しました。<b>右:</b>絵本の背ラベル「E」に、題名のあいうえおシールを貼付して、順番通りに並べました。</p>
<p>由木東小学校</p>			<p><b>左:</b>はじめての読み聞かせ講習会には、大勢の保護者の方が参加しました。本の選び方、読みかかせの効果や技法まで、実演を交えての講習会。<b>右:</b>中休み、図書委員の児童も一緒に整理を手伝います。</p>
<p>第一中学校</p>			<p><b>左:</b>渡り廊下にはずらっと掲示されたポスター「図書委員のおすすめの本」。イラストや魅力的な紹介文が目をつひきます。<b>右:</b>司書教諭、図書ボランティアさんとの協働作業。準備室、図書館の蔵書整理、廃棄の様子。</p>
<p>長房中学校</p>			<p><b>左:</b> 入り口すぐに展示スペースを確保、ボランティアの皆さんでPOPカードを添えました。<b>右:</b>窓側にあった低書架を中央に移動して両面使いに。図書館が明るくなり、奥のソファは生徒のお気に入りの場所です。</p>
<p>元八王子中学校</p>			<p><b>左:</b>前期図書委員が初めてのPOP作りに挑戦。夏休みを前に、学校図書館にある本の中からおすすめの一冊を選んで紹介しました。<b>右:</b>完成した「ぞうのPOPカード」を本と並べて展示。本の表紙が一層引き立ちます。</p>

## 本が好き！

このコーナーでは毎回本の紹介をしています。研修会の中で、講師の先生より紹介された本や学校図書館サポーター（読書推進担当）からのおすすめ本です。ぜひ読んでみてくださいね。

本の表紙画像は出版社の許諾済です



### 『みみをすます』

谷川俊太郎 詩・柳生弦一郎 絵・福音館書店



司書教諭研修会講師の蔵元先生がご紹介くださったブックトーク「音 みみをすます」(6年生の卒業前～中学2年生)の中の一冊です。『みみをすます』の詩を静かに読みきかせします。ほかに音にちなんだ物語や写真絵本と組み合わせます。

### 『ビブリオバトルを楽しもう』

谷口忠大 監修・粕谷亮美文  
さ・え・ら書房

いま話題の書評ゲーム「ビブリオバトル」は、小中学校などの教育の現場でも注目されています。「名前は聞いた事があるがどうやって開催するのか、どんな効果があるの？もっと知りたい」という方に向けて、ビブリオバトル開発者の谷口忠大先生が開催のコツや楽しみ方まで詳しく解説します。



### 学校図書館の窓から～

#### 『なにをたべたかわかる？』

長新太 作・絵 絵本館

この表紙の太ったねこは、大きな魚を食べたのです。自分で釣った魚です。釣り上げたときは普通の大きさだったのに、食べる時にはとても大きくなっていました。でもねこはどうして魚が大きくなったのか、その理由に気がついていません。その秘密を知っているのは、読者だけなのです。

読むと必ず最初から読み返して答え合わせがしたくなります。モノクロに黄色だけ、というシンプルな絵と単純明快なストーリー、言葉づかいが長新太さんらしいユーモアあふれるお話です。

(S:美山小・松枝小・上川口小・四谷中担当)



## 図書館へGO！《校内研究でビブリオバトル》東浅川小学校

## 知的書評合戦 ビブリオバトル

### ◆話題の『ビブリオバトル』に挑戦

東浅川小学校では、平成24～26年度東京都教育委員会「言語能力向上拠点校」の指定を受け、各教科で言語活動の充実へ向けた取り組みをしています。校内研究第3回全体会は「読書に関するアンケート結果を共有し、子供たちの言語活動の土台となる読書活動を推進する取り組みについて体験を交えて検討しよう。」「ビブリオバトルとは何たるかを知る。」という目的で、8月29日に実施されました。

### ◆ビブリオバトルとは

自分が読んで面白いと思った本を、友だちにすすめる手立ての一つです。「知的書評合戦」とも言われますが、本の紹介ゲームといった方がわかりやすいでしょう。子どもたちの読書活動を活発にする方法として、読み聞かせやブックトークに並び、最近話題の取り組みです。ビブリオバトルにはいくつかのルールがあります。これを守って、楽しく行うために「ビブリオバトル普及委員」の五十嵐さんを講師に招き、ルール説明のほかに、学校の中で子どもたちと取り組む際の注意点など、詳しい説明を受けました。

### ◆子どもたちに身に付けてほしい力

みんなの前で本の楽しさを紹介するには、紹介者自身が内容を理解し、人にわかりやすく伝えることができなくてはなりません。また、ビブリオバトルには、一番読みたくなった本に投票をして『チャンプ本』を選ぶというゲーム性がありますが、参加者の側にも発表の内容を聞き取り理解するという力が求められます。子どもたちにどのように体験させるか、その前に先生方でやってみようということを取り組んだ「ビブリオバトル イン 東浅川小学校」でしたが、この体験を生かして、子どもたちに楽しい本をたくさん紹介して頂けることでしょう。



発表を終えて  
結果を待つ先生

八王子市教育委員会 学校教育部指導課

学校図書館担当（教育センター内）

平成26年度第2号

12月10日発行

（通巻18号）

連絡先 電話 042-664-1135 / FAX 042-662-2988

住所 八王子市散田町2-37-1

e-mail [b301400@city.hachioji.tokyo.jp](mailto:b301400@city.hachioji.tokyo.jp)